Exsight

取扱説明書

小電力型ワイヤレスセキュリティシステム

警報音付き受信ユニット

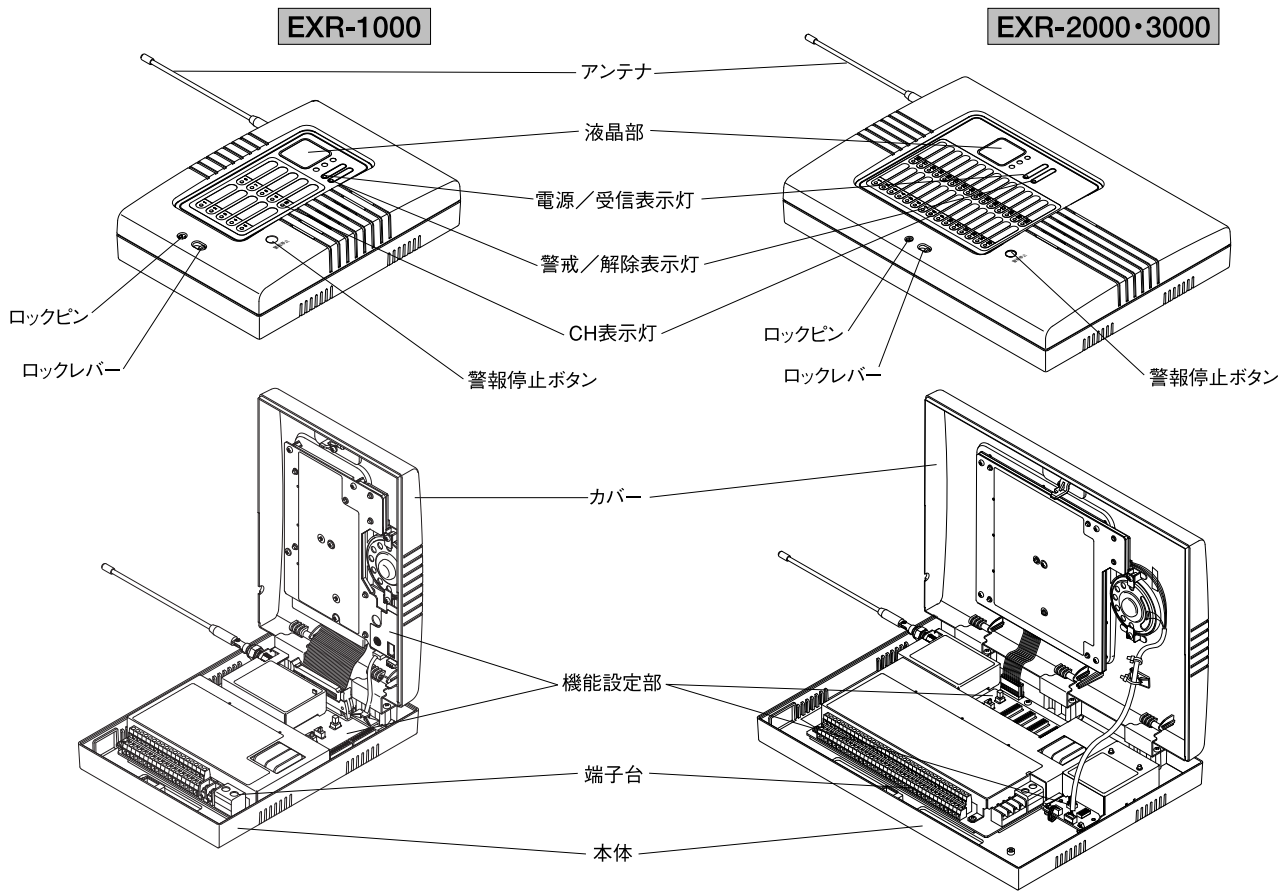
EXR-1000（10CH用）
EXR-2000（20CH用）
EXR-3000（30CH用）

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

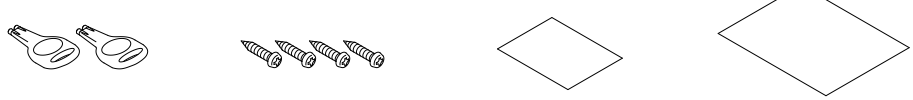
1 商品説明

「警報音付き受信ユニットEXR-1000・2000・3000」は、弊社の小電力型ワイヤレスセキュリティシステムの送信機シリーズと組み合わせてご使用ください。
本機は受信した電波の情報を表示すると共に警報音を鳴動します。また、接点信号を出力しますので、各種通報装置やセキュリティコントローラなどと接続することができます。

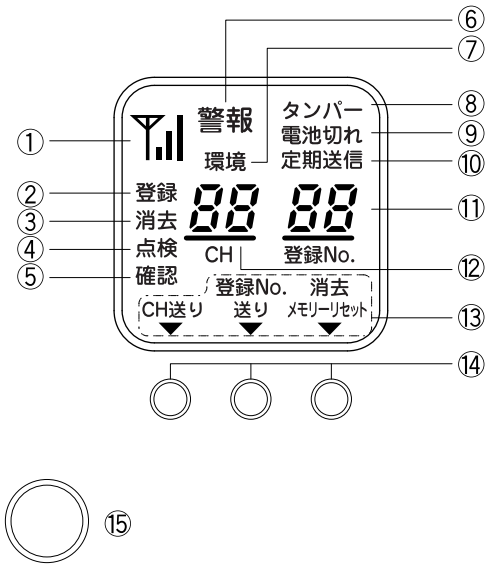
2 各部の名称



付属品



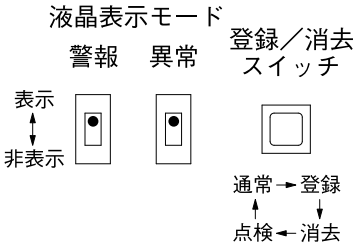
キー（2ヶ）　取付ネジφ4×20（4本）　表示ステッカー　取扱説明書（本書）



警報停止

① アンテナマーク（受信レベル）：点検モード時点灯
② 登録表示：登録モード時点灯
③ 消去表示：消去モード時点灯
④ 点検表示：点検モード時点灯
⑤ 確認表示：確認モード時点灯
⑥ 警報表示：警報時点灯、メモリー時点滅
⑦ 環境表示：環境異常時点灯、メモリー時点滅
⑧ タンパー表示：タンパー異常時点灯、メモリー時点滅
⑨ 電池切れ表示：電池切れ異常時点灯、メモリー時点滅
⑩ 定期送信表示：定期送信異常時点灯、メモリー時点滅
⑪ 登録Ｎｏ表示
⑫ ＣＨ表示
⑬ 操作ボタン表示：各種操作時点灯
⑭ 操作ボタン
⑮ 警報停止ボタン

液晶部詳細



スイッチＡ

スイッチＢ

スイッチＣ

スイッチＤ

スイッチＡ
- 1：異常出力接点切替
- 2：定期送信異常出力　許可／禁止
- 3：電池切れ音鳴動　許可／禁止
- 4～7：警戒／解除表示灯切替
- 8：警戒／解除入力切替
- 9：解除時の警報出力　有／無
- 10：未使用

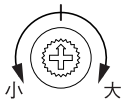
＊詳しくは10ページをご覧ください。

スイッチＢ　警報個別出力接点切替
- 1：1CH
- 2：2CH
- 3：3CH
- 4：4CH
- 5：5CH
- 6：6CH
- 7：7CH
- 8：8CH
- 9：9CH
- 10：10CH

スイッチＣ　警報個別出力接点切替
- 1：11CH
- 2：12CH
- 3：13CH
- 4：14CH
- 5：15CH
- 6：16CH
- 7：17CH
- 8：18CH
- 9：19CH
- 10：20CH

スイッチＤ　警報個別出力接点切替
- 1：21CH
- 2：22CH
- 3：23CH
- 4：24CH
- 5：25CH
- 6：26CH
- 7：27CH
- 8：28CH
- 9：29CH
- 10：30CH

音量



鳴動音設定スイッチ

鳴動音設定スイッチ
- 1　：鳴動音切替
- 2～4：鳴動時間設定

※EXR-1000はスイッチC、Dはありません。
EXR-2000はスイッチDはありません。

機能設定部詳細

3 ご使用上の注意

⚠ 警　告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源供給を中止して煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。

●万一、内部に水などが入った場合、すぐに機器本体の電源供給を中止してから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●この機器は防水型ではありません。風呂場や湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器を改造・分解しないでください。火災・感電の原因となります。

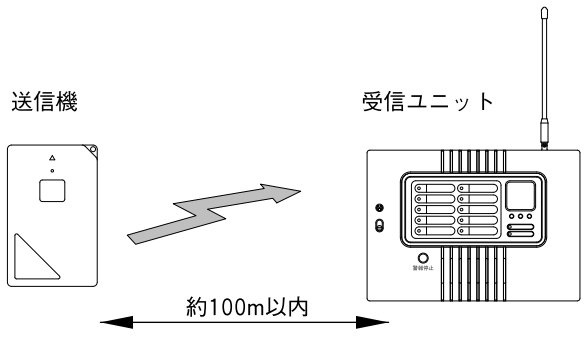
●表示された電源入力〈AC100VまたはDC10V～18V〉以外の電圧で使用しないでください。また、電源入力の併用は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器の出力接点には、表示された容量を超えるような機器を接続しないでください。火災・感電の原因となります。

●この機器の重量に耐えられないような場所に設置しないでください。機器が落下して怪我の原因となります。

《ご使用上の注意》

●本装置の電波の受信距離、および到達距離は、見通し距離で100m以内です。建物の構造や送信機と受信ユニットとの間の障害物など周囲の環境によっては受信距離、および到達距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。



●電波の受信距離、及び到達距離は次のような使用場所では短くなる場合があります。

- 送信機と受信ユニットとの間に金属や鉄筋コンクリートなどの隔壁がある場合。
- 壁内部の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールなどを使用している場合。
- 受信ユニットを取り付ける面が金属の場合や周辺が金属で囲まれるような場合。（スチール家具の間など）
- テレビ、ラジオの送信所付近の強電界地域の場合。

●強い電界や磁気をを発生する機械の近くでは正常に動作しないことがあります。

●実際に送信機・受信ユニットの設置・配線工事を行う前に電源線を仮配線し、設置しようとする場所間で確実に受信可能であることを確認してください。

●本ユニットの使用は、日本国内に限ります。

●2台以上の送信機から同時に送信されると、信号を受け付けない場合がありますが故障ではありません。

●お手入れの際は、乾いた布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどの薬品では拭かないでください。

4 送信機の登録および、消去

★送信機を登録する場合、送信機と受信ユニットとの間を1m以内にする必要があるため、受信ユニットの本設置前に行ってください。

★送信機は、最大60台まで登録可能です。

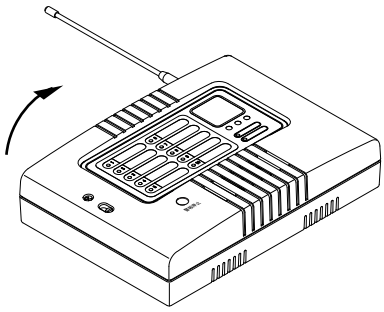
★1つのチャンネルにまとめて60台登録したり、2つのチャンネルに30台ずつ計60台登録することも可能です。この場合他の空チャンネルには登録できません。

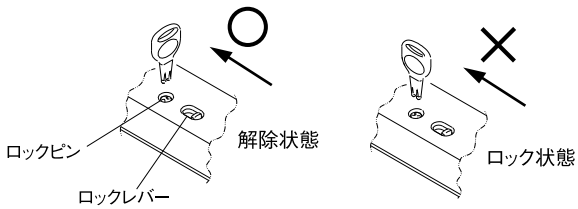
★1台の送信機を異なるチャンネルに同時に登録することはできません。

★EXR-1000、2000、3000共、登録および、消去方法は同じです。

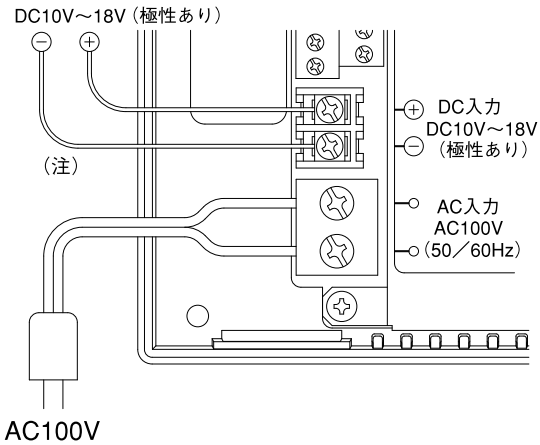
《登録》

①ロックピンが解除になっていることを確認してから、ロックレバーをスライドさせて、カバーを開けてください。

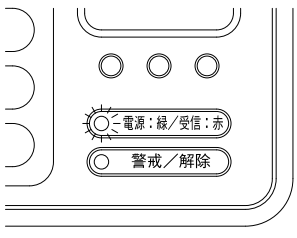




②電源線を配線して電源を投入し電源表示灯（緑）が点灯していることを確認してください。

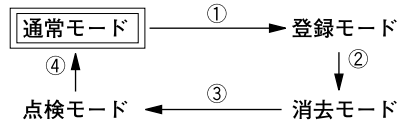


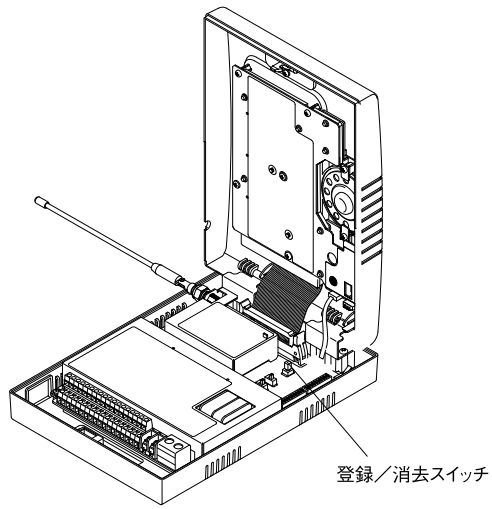
（注）AC入力とDC入力の併用は絶対にしないでください。



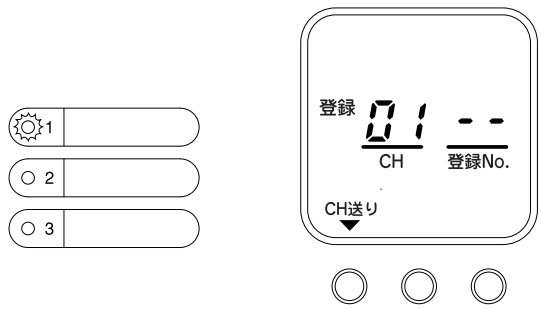
③登録／消去スイッチを1回押してください。

登録／消去スイッチを押す毎に以下のようにモードが切り替わります。



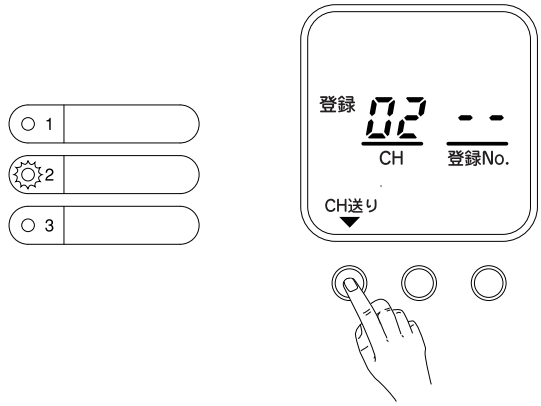


●液晶の‘登録’が点灯および、CH表示灯が点滅（→13ページ）し登録モードに入ります。
（数字の左側はCH、右側は登録No.を示します）

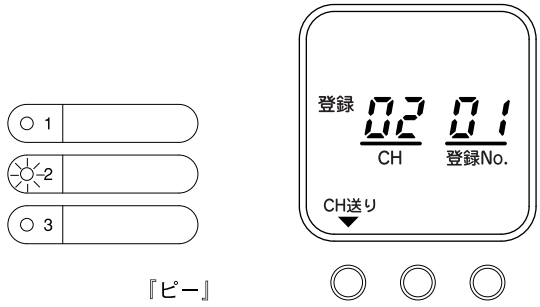


（注）該当CHに既に登録がある場合、登録No.は最も若いものが表示されます。

④CH送りボタンを押し、登録したいCHにしてください。



⑤登録したいCHが表示されている時、登録しようとする送信機に電源を投入（電池を接続）して、警報信号の電波を送信してください。
この時、送信機と受信ユニットの距離は1m以内にしてください。



『ピー』

『ピー』と鳴動し、登録が完了します。
またこの時、該当のCH表示灯が点灯に変わり、警報個別出力および、警報総合出力が動作します。

（注）解除時出力なしの設定で、解除状態の場合は登録はできますが、接点出力は行いません。

⑥続けて別の送信機を登録する場合は、再度④、⑤の作業を行ってください。

⑦登録を全て終えて通常モードに復帰する場合は、登録／消去スイッチを3回押してください。
液晶は何も表示されない状態となり、通常モードとなります。
（5分間何も操作がない場合は、自動的に通常モードとなります）

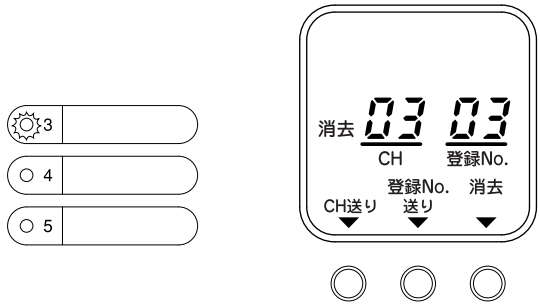
（注）警戒状態で登録作業を行っている場合、登録済の送信機から信号が送信されると通常モードに復帰した際に、メモリーが表示されます。

★一度登録された送信機は、電源をOFFにしても、消去されませんので、登録するチャンネルを間違えた場合などは、一旦該当する送信機を消去してから、再登録を行ってください。

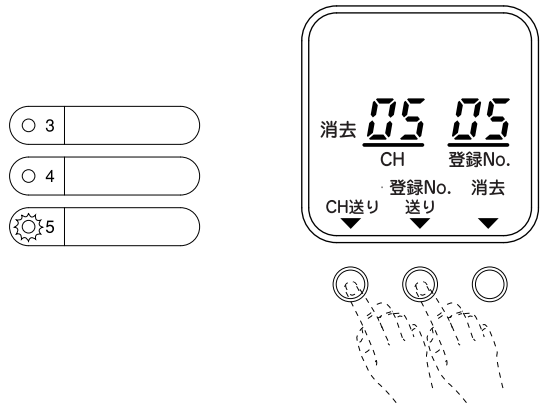
《消去》

①登録／消去スイッチを2回押してください。

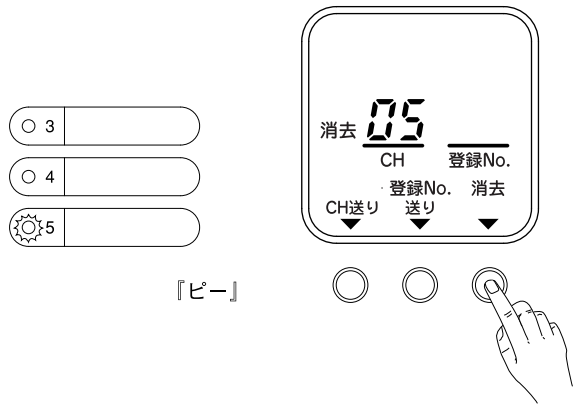
●液晶の‘消去’が点灯及び、CH表示灯が点滅（→13ページ）し消去モードに入ります。



②CH送り、登録No.送りボタンを押し、消去したい登録No.にしてください。



③消去したい登録No.が表示されている時、消去ボタンを1秒以上押してください。



『ピー』

『ピー』と鳴動し、登録No.が消えて該当送信機の消去が完了します。

④通常モードに復帰する場合は、登録／消去スイッチを2回押してください。
液晶は何も表示されない状態となり、通常モードとなります。
（5分間何も操作がない場合は、自動的に通常モードとなります）

【登録No.について】

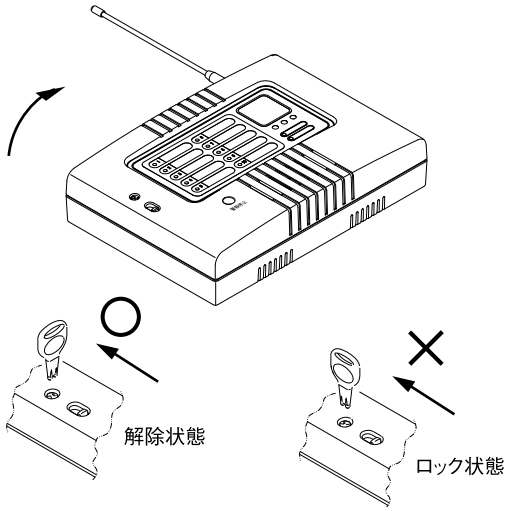
送信機の登録No.は、送信機の種類や設置場所、CHなどには関係なく登録作業を行った順に01、02・・・、60のように割り当てられます。
また、それ以外の表示をした場合は、次のような内容となります。

登録No.表示	内　　容
- -	該当CHに送信機が登録されていない
E0	該当送信機が既に他のCHに登録済である
E1	送信機の登録台数が60台を超えている

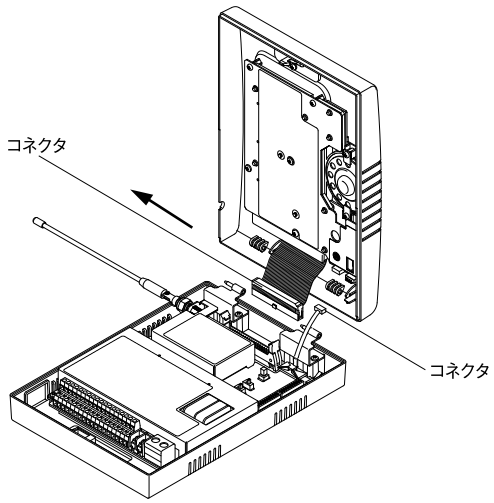
5 取付方法

EXR-1000

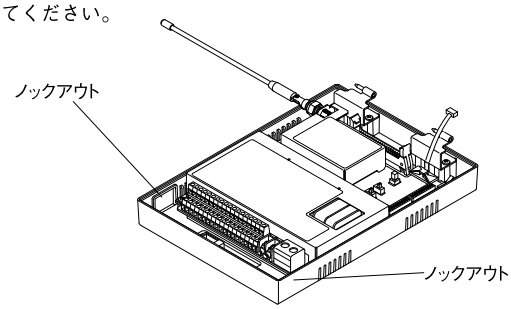
①ロックピンが解除になっていることを確認してから、ロックレバーをスライドさせて、カバーを開けてください。



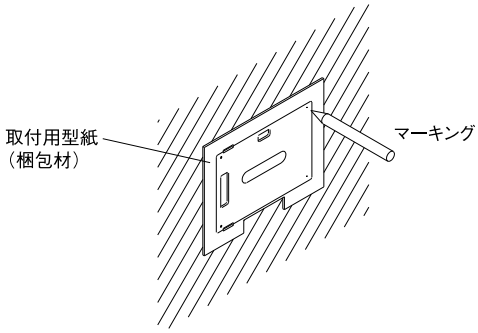
②接続コードのコネクタを 2 カ所はずしてから、カバーをスライドさせ本体と分離してください。



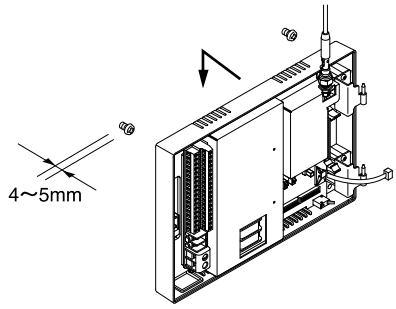
③露出配線をする場合は、配線を考慮して必要なノックアウトを破ってください。



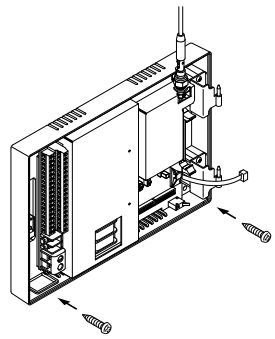
④取り付けようとする位置に、取付用型紙をあててネジ位置にマーキングしてください。



⑤付属のタッピングネジ 2 本を上部 2 カ所に首下 4～5 mmまでねじ込み、本体上部のダルマ穴に引っ掛けてください。
※水平方向の取付ピッチは215mmです。

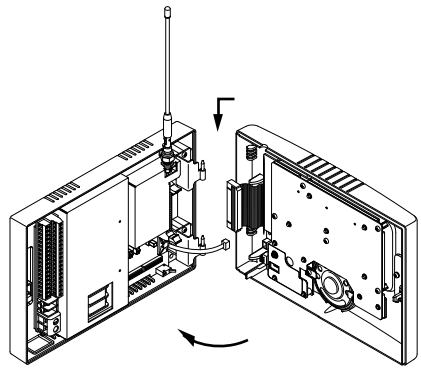


⑥本体下部の穴にもネジを取り付けてすべてのネジをしっかり締め付けてください。

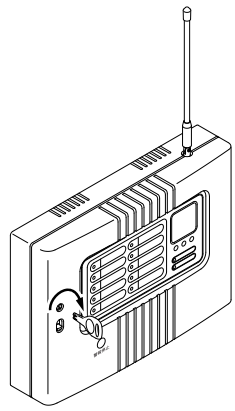


⑦〈5 端子配列および配線〉の項を参照の上、各種機器への配線を行ってください。

⑧本体のヒンジにカバーをスライドさせて入れてから、本体とカバーの接続コードのコネクタを 2 カ所接続し、カバーを閉めてください。

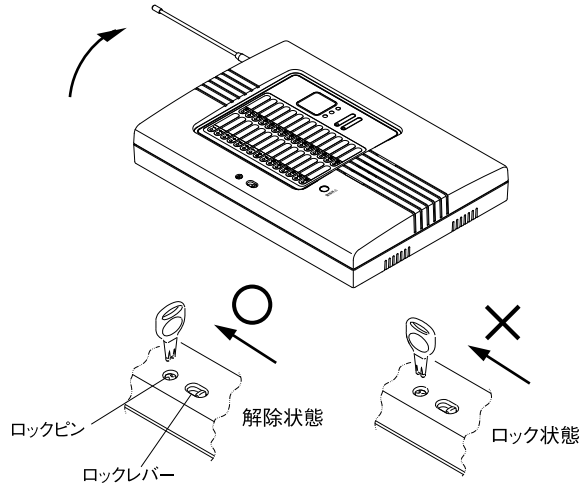


⑨ロックピンをキーで回して、カバーをロックしてください。

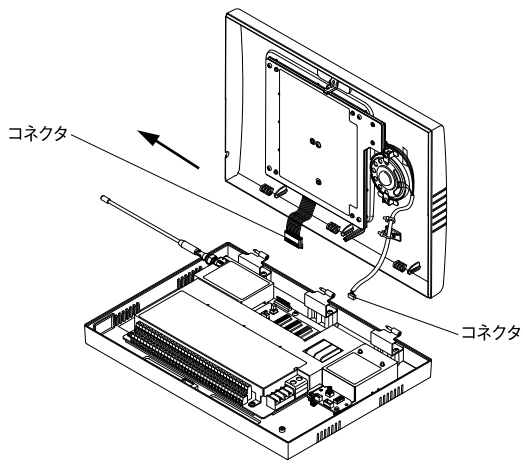


EXR-2000・3000

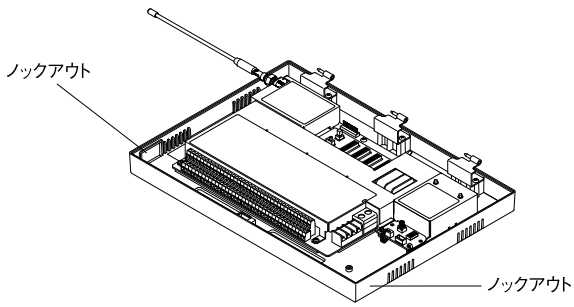
①ロックピンが解除になっていることを確認してから、ロックレバーをスライドさせて、カバーを開けてください。



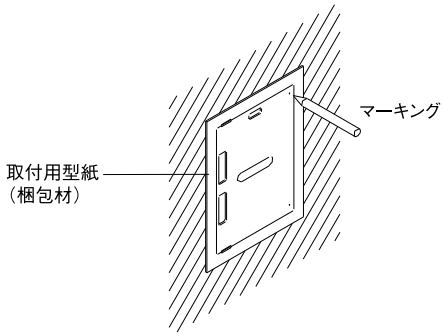
②接続コードのコネクタを２カ所はずしてから、カバーをスライドさせ本体と分離してください。



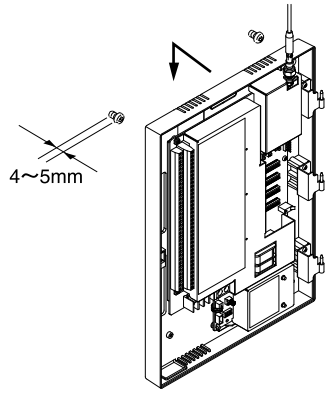
③露出配線をする場合は、配線を考慮して必要なノックアウトを破ってください。



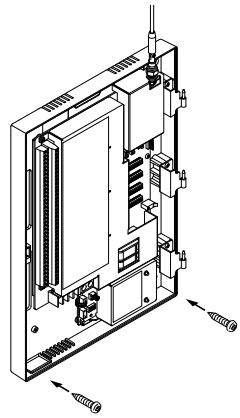
④取り付けようとする位置に、取付用型紙をあててネジ位置にマーキングしてください。



⑤付属のタッピングネジ２本を上部２カ所に首下 ４～５mmまでねじ込み、本体上部のダルマ穴に引っ掛けてください。
※水平方向の取付ピッチは215mmです。

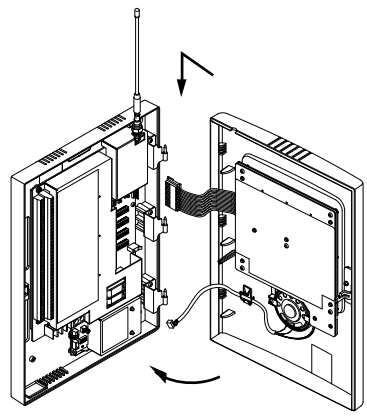


⑥本体下部の穴にもネジを取り付けてすべてのネジをしっかり締め付けてください。

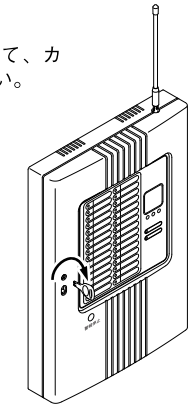


⑦〈５端子配列および配線〉の項を参照の上、各種機器への配線を行ってください。

⑧本体のヒンジにカバーをスライドさせて入れてから、本体とカバーの接続コードのコネクタを２カ所接続し、カバーを閉めてください。

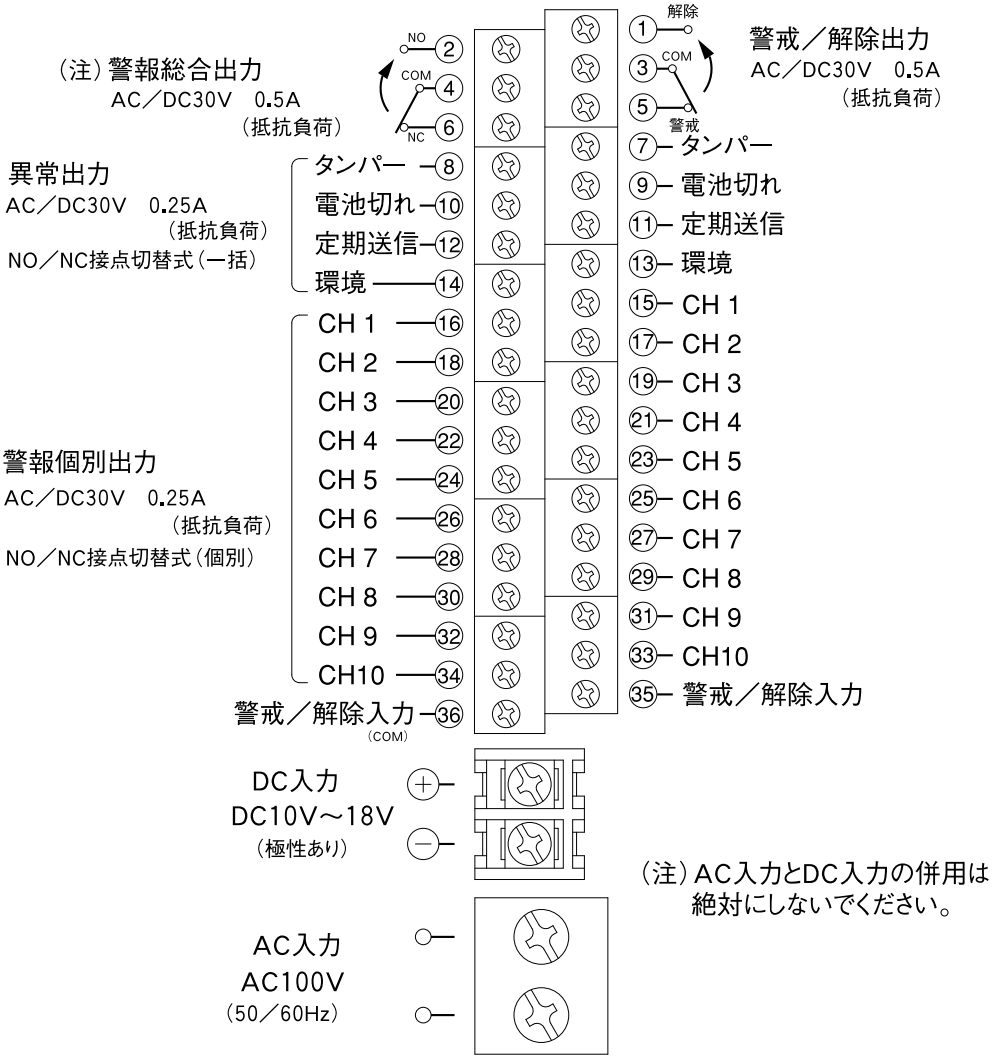


⑨ロックピンをキーで回して、カバーをロックしてください。



6 端子配列及び配線

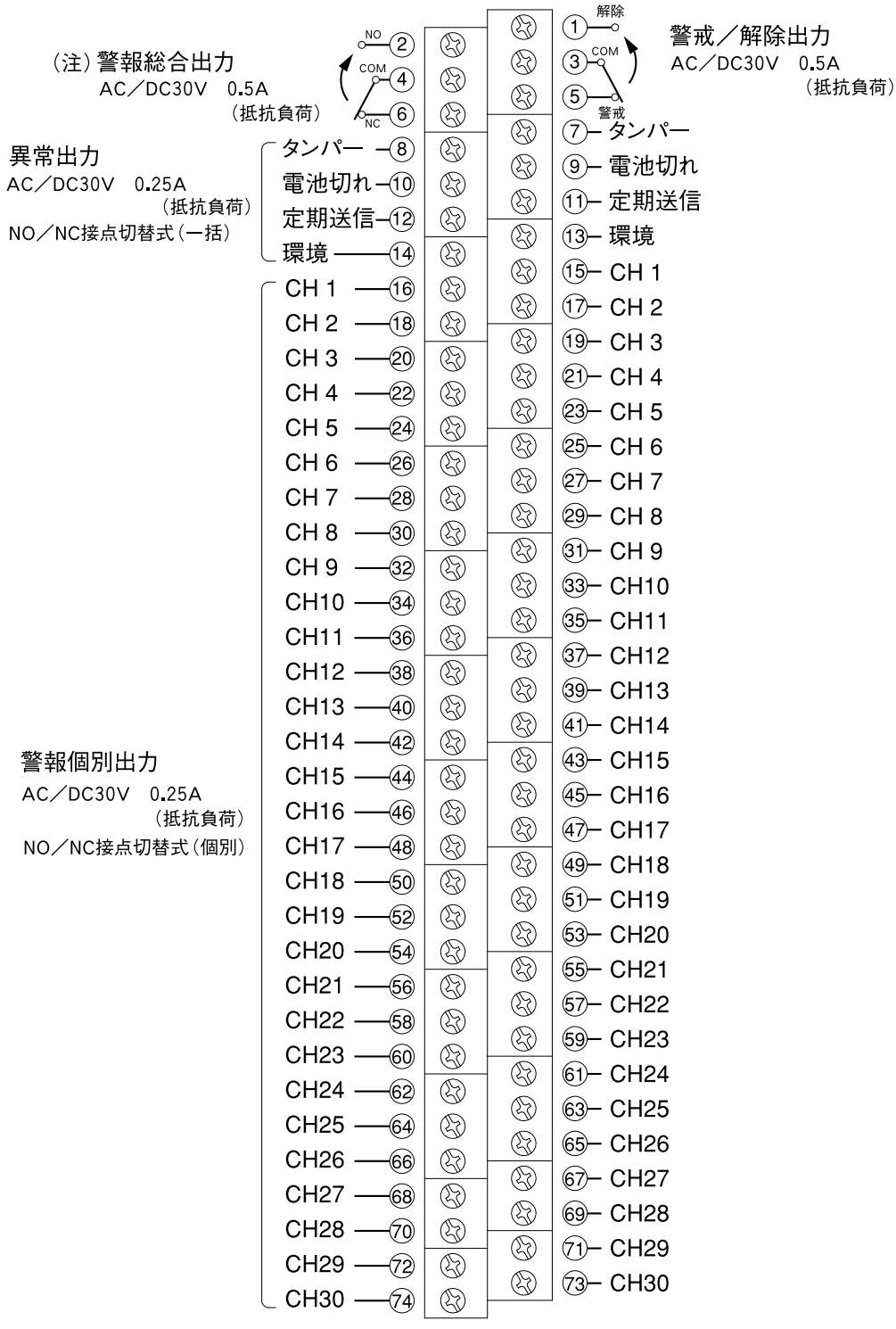
EXR-1000



（注）警報総合出力は、警報個別出力（CH1～CH10）の一括出力です。
　　異常出力時（タンパー、電池切れ、定期送信、環境）は警報総合出力は出力しません。

※本ユニットには、停電補償回路は内蔵されておりません。停電補償が必要な場合は、バッテリーバックアップ付の直流電源や無停電電源などを接続してください。
※接続する制御機器やコントローラの施工マニュアル、説明書もご参照の上、配線、接続を行ってください。
※電話回線などに接続する場合は、必ず技術基準適合認定品の非常通報装置を使用してください。

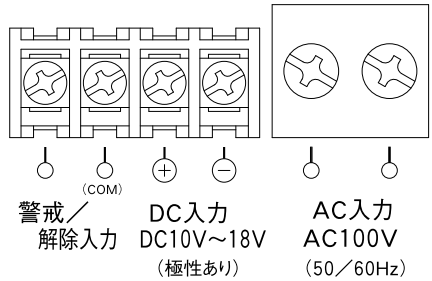
EXR-2000・3000



（注）警報総合出力は、警報個別出力（CH1～CH30）の一括出力です。
異常出力時（タンパー、電池切れ、定期送信、環境）は警報総合出力は出力しません。

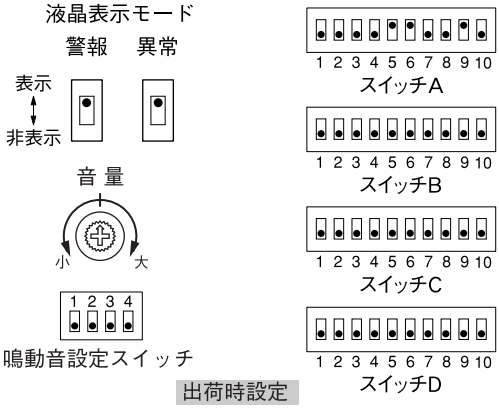
★EXR-2000の警報個別出力は、
CH20（54番端子）までです。

（注）AC入力とDC入力の併用は絶対にしないでください。



7 機能設定

★以下の機能を内部設定スイッチにより設定してください。

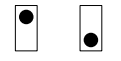


出荷時設定

①液晶表示モードの設定

〔警報〕

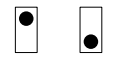
警報が発生した時、その内容を液晶に表示するか、表示しないかを設定します。



〔異常〕

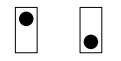
異常（タンパー、電池切れ、定期送信、環境）が発生した時、その内容を液晶に表示するか表示しないかを設定します。

＊非表示の設定でもCH表示灯の点灯（点滅）および、接点の出力は行います。また、メモリーリセットを行う場合は、一旦表示にしてからメモリーリセットボタンを押してください。



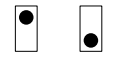
②異常出力接点の設定（スイッチA－1）

接続する各種通報機やコントローラなどの受信方式に応じて、異常出力（タンパー、電池切れ、定期送信、環境）の接点をNO（a接点）またはNC（b接点）に設定してください。
タンパー、電池切れ、定期送信、環境は一括して設定されます。
個別には設定できませんのでご注意ください。



③定期送信異常出力の設定（スイッチA－2）

携帯型送信機など下記の送信機について、定期送信異常を出力するかどうかを設定してください。
禁止に設定すると下記の送信機について定期送信異常を無視します。
但し、下記以外の送信機は禁止されません。

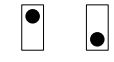


カード式送信機	：TX-101A
押ボタン送信機	：TX-101P
傾斜検知送信機	：TX-101K
マネークリップ送信機	：TX-101M
ペンダント／腕時計型送信機	：TX-104
マットスイッチ送信機	：TX-109
救急ペンダント送信機	：TX-110
腕時計送信機	：TX-111
押ボタン防水型送信機	：TX-113
ペンダント型送信機	：TX-122

④電池切れ音鳴動（スイッチA－3）

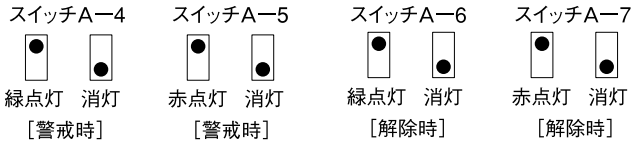
送信機の電池切れ異常の信号を受信した場合、表示および、接点出力と連動してブザーを鳴動させるかどうかの設定をしてください。

ブザー音：“ピッ”（20秒毎）



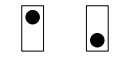
⑤警戒／解除表示灯（スイッチA－4～7）

パネル面の警戒／解除表示灯の色の設定をしてください。
必要な場合は、付属の表示ステッカーを貼ってください。



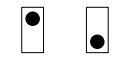
⑥警戒／解除入力（スイッチA－8）

警戒／解除入力を開時：警戒か、開時：解除のどちらにするか設定してください。
なお、警戒／解除入力を使用しない場合は、開時：警戒に設定してください。



⑦解除時の警報出力（スイッチA－9）

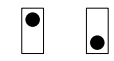
解除時に警報出力を行うかどうかを設定してください。
解除時に警報出力無に設定すると解除時にはCH表示灯、液晶表示および警報音の鳴動も行いません。
異常表示は設定に関わらず出力します。



⑧警報個別出力接点

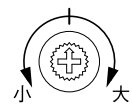
（EXR-1000：スイッチB－1～10）
（EXR-2000：スイッチB、C－1～10）
（EXR-3000：スイッチB、C、D－1～10）

接続する各種通報機やコントローラなどの受信方式に応じて、CH 毎の個別出力の接点をNO（a接点）またはNC（b接点）に設定してください。



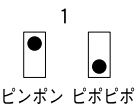
⑨鳴動ボリューム

警報音の音量を設定してください。
（無音にする場合は左いっぱいにまわしてください）



⑩鳴動音切替（鳴動音設定スイッチ－1）

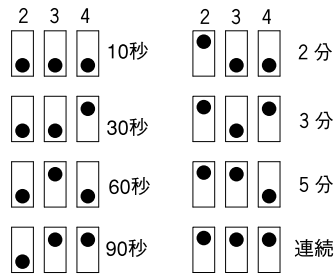
警報音の鳴動パターンを選択してください。



⑪警報音鳴動時間設定
（鳴動音設定スイッチ－2～4）

警報音の鳴動時間を設定してください。

※但し、接点入力型の場合、タイマー終了の時点で復旧していなければ（復旧信号未受信の場合）さらにタイマー時間鳴動します。



8 動作確認

①受信ユニットの電源を投入し、電源表示灯が点灯（緑）していることを確認してください。

②送信機より警報信号を送信させてください。
＊送信方法は、各送信機の取扱説明書をご覧ください。

③このとき受信ユニット側で、次の動作をすることを確認してください。

●該当する送信機の
- CH、登録No.の液晶表示（液晶表示モードの設定が表示の場合のみ）
- CH表示灯の点灯
- 警報個別接点の出力

●設定した警報音の鳴動

●警報停止ボタンを押すと警報音の停止

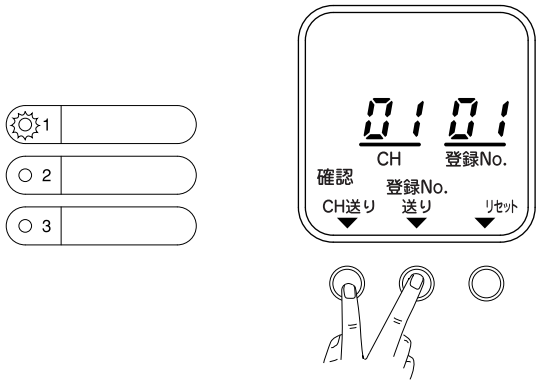
※受信状態が悪い場合は、警報信号の受信時に該当CHのCH表示灯が約4秒間点滅してお知らせします。（→13ページ）
この場合、送信機の位置を移動させて再度確認してください。

9 各種機能説明

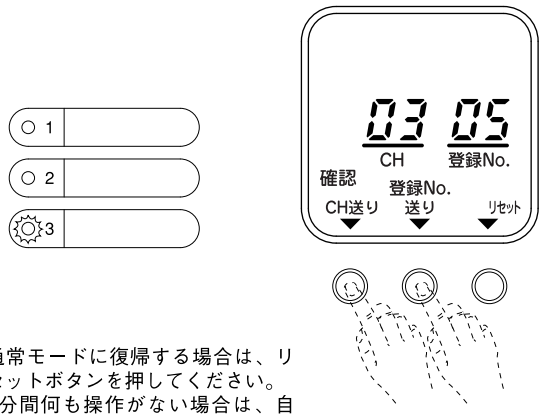
Ⅰ 登録内容確認モード

★登録されている送信機のCHおよび、登録NO.を確認することができます。

①液晶部の左側2つのボタンを同時に1秒以上押してください。
液晶の‘確認’が点灯し確認モードに入ります。



②CH送り、登録No.送りボタンを押して内容を確認してください。
（該当CHのCH表示灯が点滅（→13ページ）します）

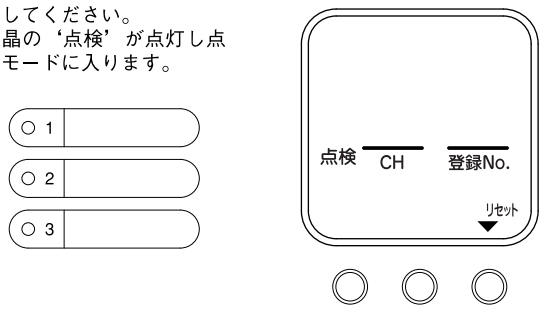


③通常モードに復帰する場合は、リセットボタンを押してください。
（5分間何も操作がない場合は、自動的に通常モードとなります）

点検モード

★送信機からの電波の受信状態を点検できます。

①登録／消去スイッチを3回押してください。
液晶の‘点検’が点灯し点検モードに入ります。



②登録されている送信機から警報信号を送信してください。
受信すると、CH、登録No.、アンテナマークの表示、および報知音の鳴動を行います。

『プッ、プッ、プッ、プッ』

アンテナマーク、及び報知音は、受信の状態により次の4種類ありますので、必要に応じて設置場所などの再点検を行ってください。

アンテナマーク	報知音	受信の状態
	プップッ プップッ	◎ 受信レベルは良好です。
	プップッ プッ	○ 受信レベルはやや弱いですが運用上問題ありません。
	プップッ	× 受信レベルが弱く、不安定なのでこのままでは運用できません。設置変更などを行ってください。
	プッ	× 受信レベルがかなり弱いのでこのままでは運用できません。設置変更などを行ってください。

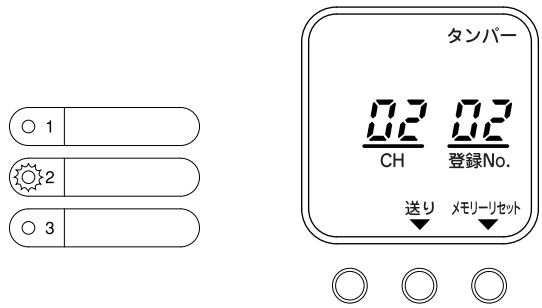
点検中も警戒状態であればメモリ動作を行います。

③通常モードに復帰する場合は、リセットボタンを押してください。
（5分間何も操作がない場合、自動的に通常モードとなります。ただし登録されている送信機からの信号を受信すると、そこから5分間延長されます。）

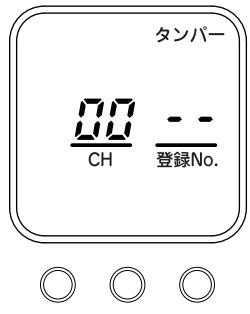
Ⅲ タンパー異常報知

★各送信機や受信ユニットにたいするいたずらなど（カバーを開けるなど）の異常が発生した場合、液晶表示とCH表示灯、およびタンパー出力によりお知らせします。
該当送信機や受信ユニットを点検してください。

●送信機がタンパー異常の場合



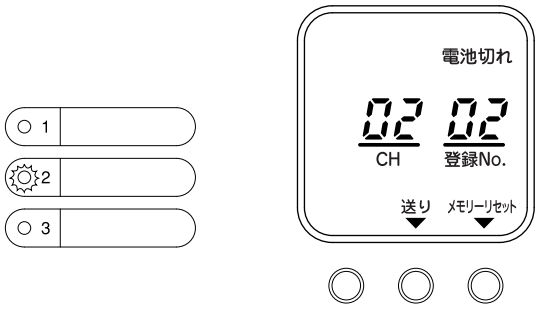
●受信ユニットがタンパー異常の場合



Ⅳ 電池切れ異常報知

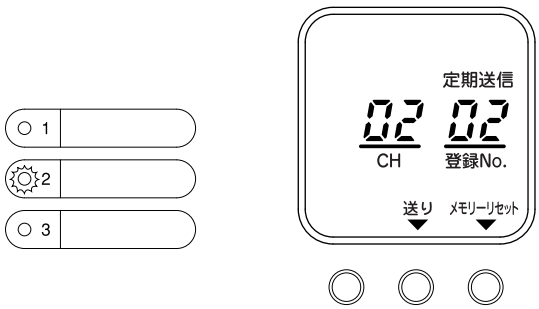
★各送信機の電池が消耗し電圧が低下した場合、定期送信や警報信号などに情報を付加して送信し、液晶表示とCH表示灯、および電池切れ出力によりお知らせします。
電池切れ異常が発生した場合は、速やかに送信機の電池を新しいものと交換してください。放置されますと送信機がまったく動作しなくなったり異常動作を起こす原因となりますのでご注意ください。

＊送信機の電池はシステムの保守点検などと合わせて定期的に交換してください。



Ⅴ 定期送信異常報知

★送信機からの電波が受信ユニットに正常に伝えられているかを定期的に送信される信号を受信し、チェックします。
周辺状況の変化などで万一電波が届かなくなった場合や送信機の故障、盗難などがあった場合、液晶表示とCH表示灯、および定期送信出力によりお知らせします。
該当送信機を点検してください。



Ⅵ 環境異常報知

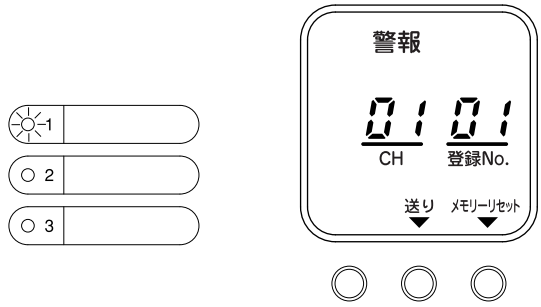
★妨害波など、送信機以外の何らかの電波を一定時間以上受信した場合、液晶表示および、環境出力によりお知らせします。
周辺状況など点検してください。

Ⅶ メモリー機能

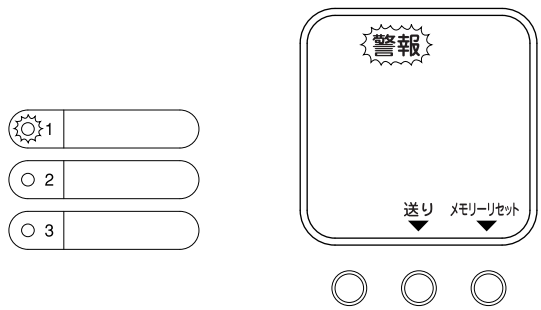
★警戒中に送信機からの警報信号を受信するか、または警戒、解除に関わらず異常（送信機のタンパー、電池切れ、定期送信、環境）を検知した場合、該当するCH、登録No.、および内容をメモリーします。

①警戒中、警報が発生すると警報動作を行い、警報動作終了後、メモリー動作が始まります。

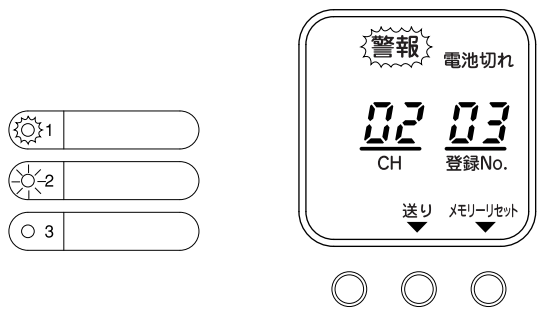
- CH、および登録No.は非表示となり、CH表示灯と受信内容が点滅します。



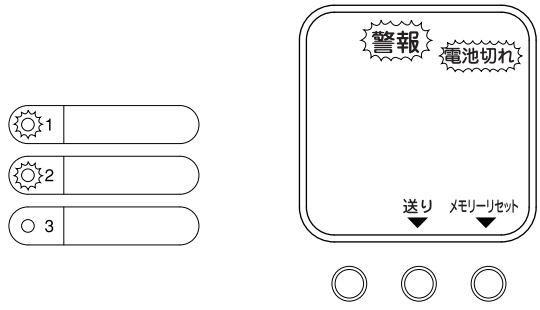
警報動作終了後



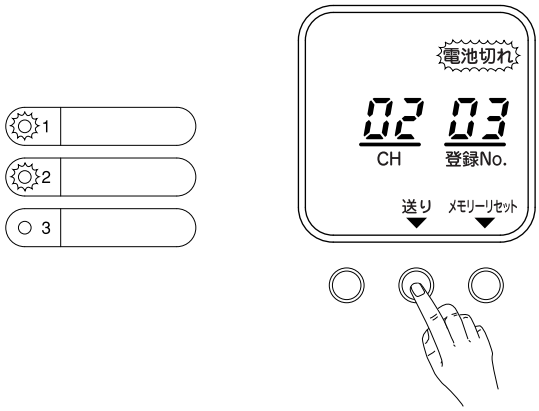
②その後さらに別の信号を受信した場合、通常通り警報動作を行います。
その間、前回のメモリーは点滅を続けます。
その後、前回を含めた状態でメモリーを始めます。



警報動作終了後



③メモリーの履歴を見る場合、送りボタンを押すことにより、最新のメモリーから順に古いものを表示することができます。



④メモリーをリセットする場合は、メモリーリセットボタンを1秒以上押してください。

★液晶表示モードの設定が非表示の場合は、液晶表示は行いませんがメモリー機能は働きます。
メモリー内容を確認する場合は、液晶表示モードの設定を、一旦、表示に設定することで可能となります。
また、メモリーリセットを行う場合も、一旦、表示に設定してから行ってください。

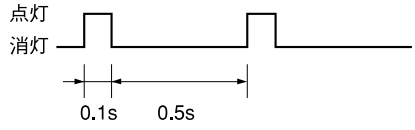
★警戒／解除入力をご使用の場合、解除から警戒にする時に自動的にメモリーリセットを行います。
なお、環境異常のみ、この動作ではメモリーリセットはできません。

Ⅷ CH表示灯の点滅パターンについて

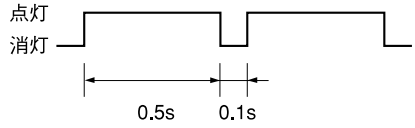
★CH表示灯は、状態によって以下のような点滅動作を行います。

（S：秒）

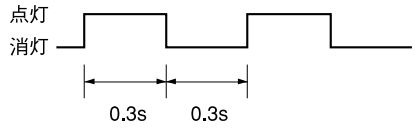
異常発生時
（タンパー、電池切れ、定期送信）



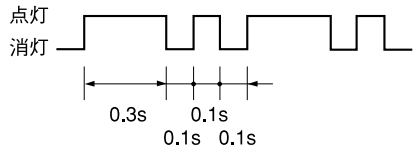
警報・異常同時発生時



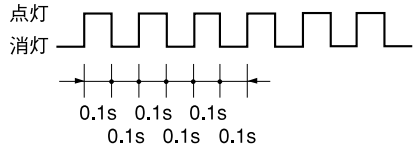
メモリー動作時



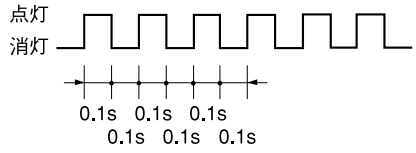
メモリー動作中
異常発生時



登録・消去
登録内容確認
モード時



受信状態悪化時



Ⅸ 警報音鳴動動作について

登録されている送信機から警報を受信すると、警報音が設定時間鳴動します。設定時間後、警報が復旧していなければ再び設定時間鳴動します。
ただし鳴動中に警報停止ボタンを押すと、鳴動はすぐに停止します。
すべての警報が復旧後、再度警報を受信すると再び鳴動を開始します。

10 異常時の点検一覧表

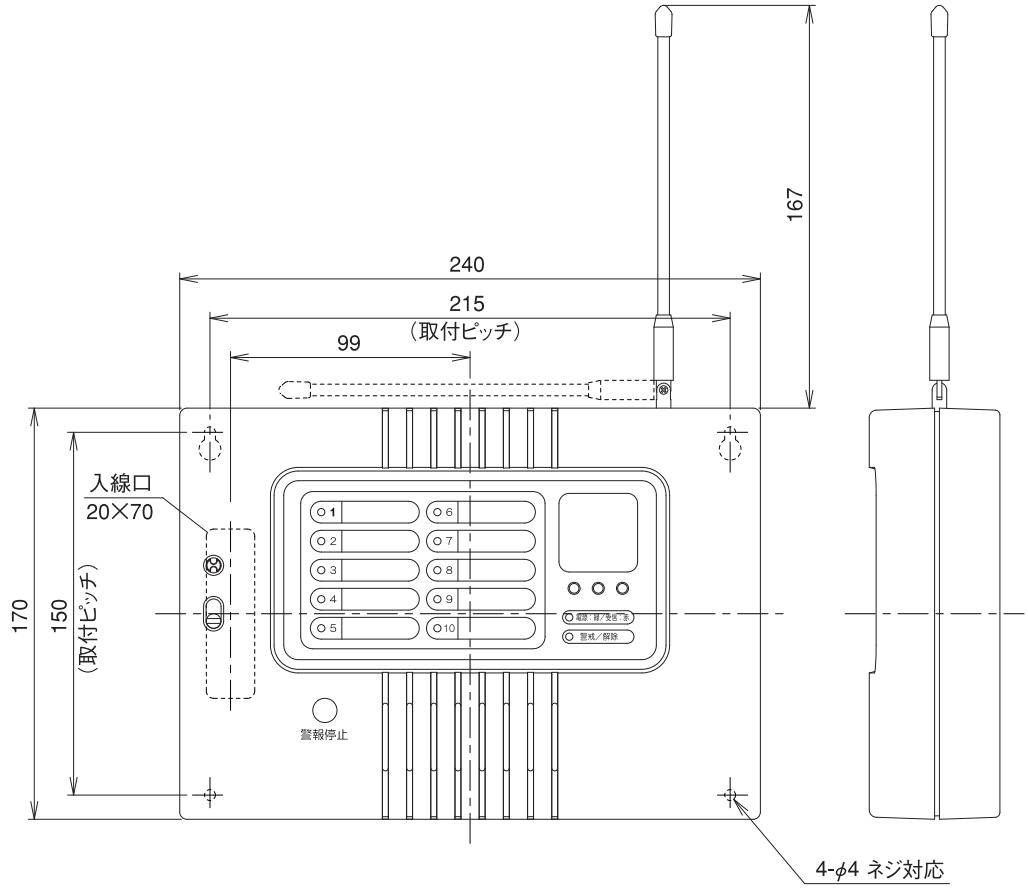
状　態	原　因	処　置
全く動作しない。 （電源表示灯消灯）	●電源が入っていない。 （断線も含む） ●DC入力時、極性が逆である。	●電源ラインを確認する。 ●極性を確認する。
全く受信しない。	●送信機が受信ユニットに登録されていない。 ●送信機と受信ユニットの距離が遠すぎる。 （100mを越えている）	●登録する。 ●送信機と受信ユニットの距離が近づくように設置を変更する、または中継機（RTX-100-S）を使用する。
受信しないことがある。 （定期送信異常が発生する） （環境異常が発生する）	●強い電界や磁界を発生する機器が近くにある。 ●送信機と受信ユニットの距離が遠すぎる、または周囲の環境が悪い。	●該当機器から遠ざけるなど設置環境を再検討する。 ●送信機と受信ユニットの距離が近づくように設置を変更する、または中継機（RTX-100-S）を使用する。
鳴動動作をしない。	●送信機が受信ユニットに登録されていない。 ●送信機と受信ユニットの距離が遠すぎる。 （100mを越えている） ●鳴動停止後、登録されている送信機の中に復旧信号を受信していないものがある。 ●音量ボリュームが最小になっている。	●登録する。 ●送信機と受信ユニットの距離が近づくように設置を変更する、または中継機（RTX-100-S）を使用する。 ●復旧信号を受信させる。 ●音量ボリュームを調整する。
鳴動動作が止まらない。	●タイマー終了の時点で復旧信号を受信していない。 ●鳴動時間設定が“連続”になっている。	●復旧信号を受信させる。 ●鳴動時間設定を変更する。 または警報停止ボタンを押す。

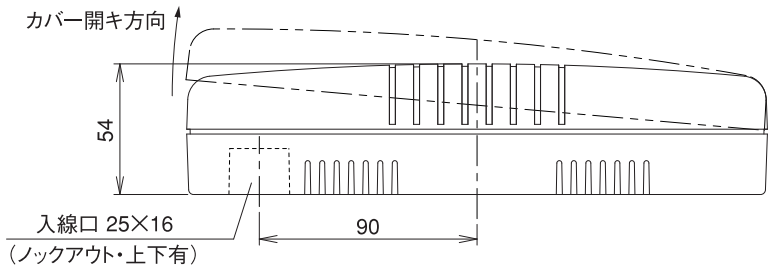
11 仕様

品　名	警報音付き受信ユニット		
品　番	EXR-1000	EXR-2000	EXR-3000
電源入力	AC100V　50／60Hz　または　DC10V～18V		
消費電力 （消費電流）	8W （500mA）	11W （600mA）	13W （700mA）
使用周波数帯	426MHz帯（小電力セキュリティシステムの無線設備）		
空中線	λ／4ホイップアンテナ		
受信可能距離	約100m（見通し距離）		
警報総合出力	接点方式：無電圧接点　AC／DC30V　0.5A（1ｃ接点）		
警報個別出力	接点方式：無電圧半導体接点　AC／DC30V　0.25A ａ接点・ｂ接点切替式（個別）		
	10回路	20回路	30回路
異常出力	接点方式：無電圧半導体接点　AC／DC30V　0.25A ａ接点・ｂ接点切替式（一括） タンパー、電池切れ、定期送信、環境　計4回路		
警戒／解除出力	接点方式：無電圧接点　AC／DC30V　0.5A（1ｃ接点）		
警戒／解除入力	1回路／ａ接点・ｂ接点切替式		
電源／受信表示灯	2色LED　通電時：緑点灯（受信時のみ赤点灯）		
CH表示灯	赤色LED　警報受信時：点灯　異常時・メモリー時：点滅		
	10	20	30
液晶表示	警報、異常発生時に表示（メモリー機能有） 登録、消去、点検、確認時など操作時に表示		
内蔵ブザー	液晶部操作ボタン操作時：『ピッ』 送信機の電池切れ受信時：『ピッ』（20秒毎） 点検モード時　：『プッ』 登録エラー時　：『ブー』　全て音量固定式		
警報音	鳴動音：『ピポピポ』『ピンポン』 音　量：0（無音）～約80dB 鳴動時間：10秒、30秒、60秒、90秒、2分、3分、5分、連続		
送信機登録可能台数	60台		
本体タンパー	あり		
メモリー機能	あり		
使用可能周囲温度	−10℃～＋50℃		
配線接続	端子式		
取り付け場所	屋内・壁掛け式		
質量	約1400g	約2200g	約2200g
外観	ABS樹脂（ホワイト）		

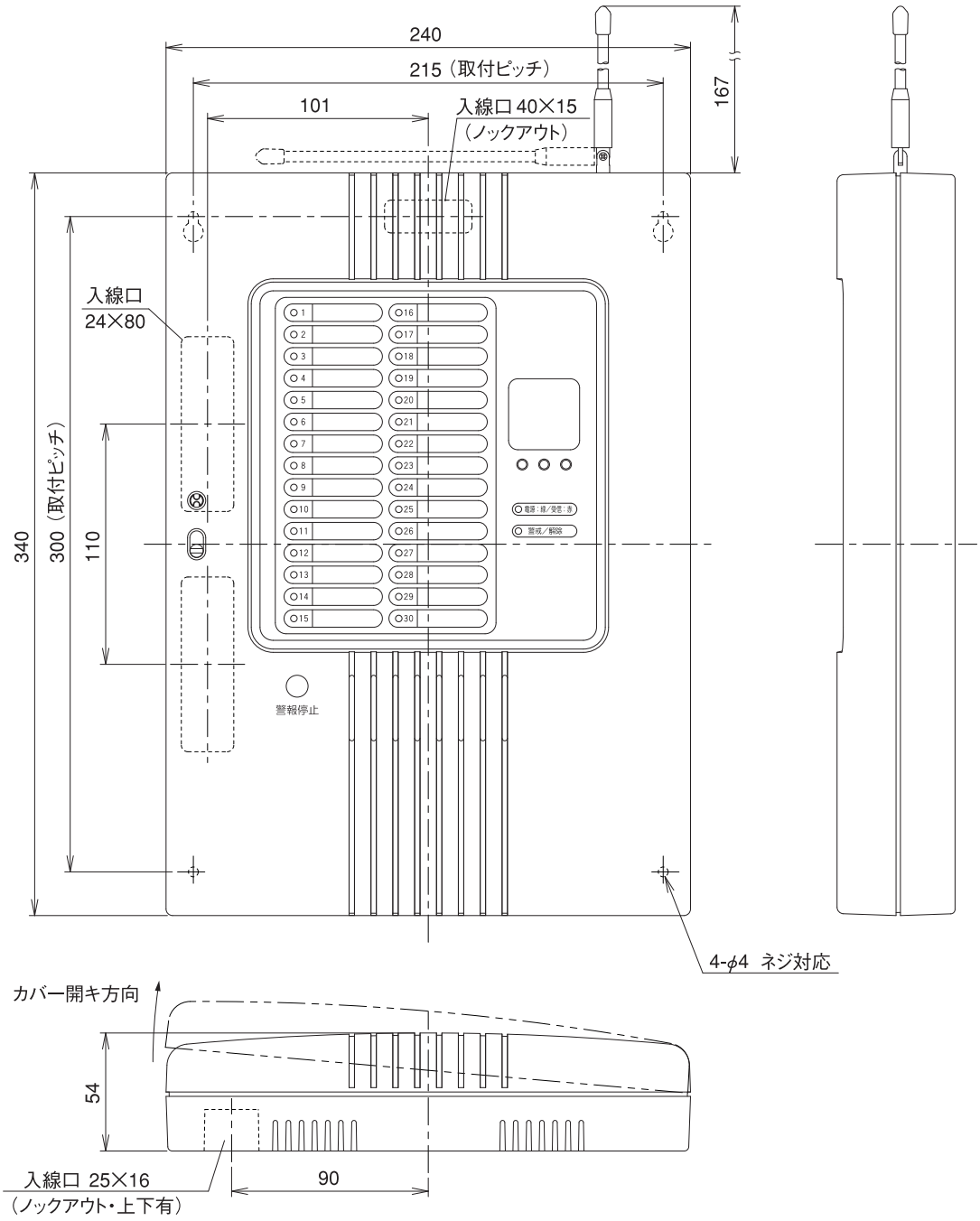
12 外形寸法図 （単位：mm）

EXR-1000





EXR-2000・3000



Exsight

エクサイト株式会社

〒607-8345 京都市山科区西野離宮町16-1
Tel. 075-594-8288 Fax. 075-594-8380
http://www.exsight.co.jp

■おことわり■
この取扱説明書に掲載されている商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身などに使用するもので盗難防止器、災害防止器、環境破壊防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故及び機器のご使用方法の誤り、保守点検の不備、天災地変（誘導雷サージ含む）などによる事故損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

＊品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。
万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。

●仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。